

田牛観光協会体験学習協議会主催の臨海学校で講話

平成29年5月24日(金)、下田市の田牛観光協会体験学習協議会が主催する、臨海学校の“海の生物に関する講話”を依頼されたため、講師として当场職員が伺い、伊豆半島の岩礁域に生息する様々な生物についてお話をしました。

この体験学習は、毎年恒例の行事となっており、平成29年は県外及び県東部地区の13校2,323名の学生を受け入れ予定とのことで、今回の講話では、沼津市立北中学校の生徒199名を対象に、潮間帯に生息する節足動物、軟体動物、棘皮動物等の生態、海藻の分類や食用種、また、クラゲやガンガゼ等、磯観察をする上で注意すべき危険生物について説明しました。

生徒たちは、その後、“二丁間の磯”での磯の自然観察と、地元水産会社の所有する蓄養池でのタッチプールを体験したとのことです。なお、タッチプール用のイセエビ、ウニ、ナマコ、ヤドカリなどは、体験学習協議会メンバーで事前に採集したとのことです。

今回の臨海学校を通して、子供たちは海の魅力を存分に感じ、様々な事を経験して、大きく成長できたことでしょう。



写真 講話を聞く中学生

(鈴木勇己)